# 学生主体の八王子市水辺活用化イベントの運営提案
## ～ スモールビジネスの学びの場として ～

## Proposal for a student-led event to utilize Hachioji City's waterfront

チーム名）水辺探し
羽生蒼 1) ,菊地康晃 1) ,林優斗 1) ,飯田颯 1)
指導教員　永見豊 1)

1)拓殖大学　工学部　デザイン学科　シビックデザイン研究室

八王子市の水辺を活かした地域活性化に大学生が主体的に参加し、スモールビジネスの学びの場とするもので、2024 年 10 月のミズカライベントでの経験を基に、浅川などの水辺で企画・運営を行い、デジタル技術を活用して参加者を募り、学生が地域貢献とビジネススキルを学ぶ仕組みを提案する。

キーワード：水辺, イベント, 活性化, スモールビジネス, 大学生

### １．はじめに

国土交通省がミズベリングとして水辺の活性化を進める一方で、八王子市は「八王子未来デザイン 2040」に基づき、市民主体の水辺活性化プロジェクト・ミズカツを 2023 年から展開している[1]。私たちは、2024 年 10 月 26 日のミズカツイベントにて謎解きゲーム企画を出店し、水辺の魅力を再発見したと同時に企画の難しさと面白さを実感した（図 1）。それと同時にミズカツに大学生が参加することで、様々な企画により水辺の活性化に貢献できると考えた。そこで、本研究では、学生が主体的に参加するインセンティブとして、スモールビジネスの学びの場と位置付け、水辺活性化イベントの運営方法を提案する。

図 1　ミズカツイベントの様子

### ２．謎解きイベント「水辺探し」の内容

私たちの企画は小学生向け謎解き「水辺探し」である。概要を表 1 に示す。竹を使った手作りの水鉄砲は好評で、参加者のアンケートの結果から多くの方に楽しんでもらえたことが分かった。

表 1　謎解きイベントの概要

| | |
|---|---|
| **参加費<br>収益** | 参加費：500 円（グループで 1 参加も可）<br>収　益：10,000 円<br>※材料費と交通費分を除いた利益 2,000 円 |
| **ゲーム<br>の内容** | ゲームの対象を小学生にし、浅川の特徴や歴史を取り入れた学びとして、謎解きのクイズと南浅川を利用した竹の水鉄砲の的当てを行った。 |
| **賞品** | イラスト缶バッチ、お菓子<br>竹の水鉄砲はプレゼント |
| **デザイン<br>アイテム** | <br>（左）キャラクター缶バッチ<br>（右）パンフレット<br> <br>竹の水鉄砲 |
| **アンケート<br>結果** | |

一方で、材料費と交通費を除いた利益はわずかであり、ビジネスととらえると、その難しさを実感した。自治会が運営するような夏祭りであれば、利益の追求は不要であるが、主体的な参加と継続性を考えるとボランティアではなく、利益を前提とした参加企画が必要だと考える。学生が初めてビジネスを体験し、学ぶ場として、スモールビジネスの位置づけが有効であると考える。

## 3．学生のスモールビジネスの学び

スモールビジネスによる学生の学びを表 2 に示す。実践により多くの学びがあると考える。

表 2　スモールビジネスによる学生の学び

| | |
|---|---|
| Practical Experience | ビジネスの運営や業界の知識を深められる |
| Marketing Skills | ターゲット市場の理解や商品・サービスのプロモーション方法を学べる |
| Financial Management | 収支の管理や予算編成、価格設定などのスキルを実践的に学べる |
| Solution Ability | 問題が生じても対処することで問題解決能力が向上し、思考力も鍛えられる |
| Readership | チームを管理したり他者を指導したりする力が養われる |
| Management Ability | スケジュール管理や優先順位の設定を通じて時間管理能力も向上する |
| Imagination | 新しいアイデアを考え出す過程で創造性が刺激される |
| Risk Management | リスクを評価し管理する力も養われる |

## 4．運営方法の提案

今回、私たちが出店したミズカラを想定して、学生主体のスモールビジネスの運営方法を提案する。

①空きスペースの活用

学生が、出店区画の割り振りやルールの伝達を行い、実際にエリア運営を行う。今回のミズカラでは、会場の原ふれあい広場が未活用で、十分な空きスペースがあったため、そこを学生の手で運営する。

②アプリを利用した仕組みづくり

出店などの募集の方法においては、Google フォームなど学生でも容易に扱えるもの利用する。その募集フォームの作成手順を表 3 に示す[3]。

表 3　募集フォームの作成手順

| | |
|---|---|
| 1 | Google アプリから「forms」を開き「新しいフォーム作成」から空白を選ぶ |
| 2 | フォームの名前や質問項目を設定し、連絡先を記載する |
| 3 | プレビューでフォームを確認する |
| 4 | 回答を記録するシートを作成する |
| 5 | 最後に共有用の URL を取得する |

③出店のルール

今回、テントや机は市に提供いただいたが、簡易的なものは各自で準備できそうである。その他、私たちの参加の経験から、出店の条件やルールを整理し、今回の参加自治会や八王子市と協議のうえ、出店条件とルールを明文化する。

④プロモーション

初年度は本学の学生が中心となって、運営や出店に参加し、その実績を SNS で発信する。さらに、八王子の各大学施設に企画を紹介するポスターを掲示してもらい、広く周知してもらう。また、可能であれば、八王子市の Web ページに紹介していただく。

⑤情報共有

イベント終了時には、条件や運営面での経験を話し合う機会を設け、次年度の運営がスムーズにおこなえるように情報共有する。

## 5．おわりに

八王子市の協力や効果的な宣伝を通じ、学生主体で水辺を活かした地域活性化を推進し、八王子市がスモールビジネスの場づくりを目指していきたいと考える。

参考文献

[1] 八王子未来デザイン 2040, https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/kihon/kashou/index.html
[2] 全国学生 1 万人アンケート, https://www.volacen.jp/pdf/2023-student-volunteers-survey.pdf
[3]【お役立ち】誰でも簡単に Google フォームで募集フォームを作る方法【7 つのステップ】,https://tanagaippai.com/how-to-use-a-googleform/#toc11